



ダークワールド

醜い顔






ある国のある場所
一人の若者が森を
歩いていた時だった



一本の大木が
輝いていた



見ると醜い顔が
浮びあがり
若者をにらみ
つけていた



醜い顔に
触れた



若者は輝く
大木へと
近づいた



すると突然
醜い顔が大木から
出てきた



若者は醜い顔が
飛んで行く方向へ
ついて行った

ハア
ハア



醜い顔は若者を
導くかのように
上昇していった



醜い顔は
大石の上で
静止し大石は
よく見ると
言わんばかり
だった

若者は大石を
凝視した



かすかだが
大石の中に何
かが見えた



なんと醜い顔の
半分が大石の中に
埋もれているでは
ないか



若者は
ただ驚く
ばかりだった




再び若者に
何かを語り
かけてきた




醜い顔の
言葉が分かった







もう片方の
醜い顔を大石の
中から取り出して
ほしいと




でもどうやって
大石の中から取り
出せば良いのか
分からなかった




更に醜い顔は
若者に話しかけた
大石に触れろと



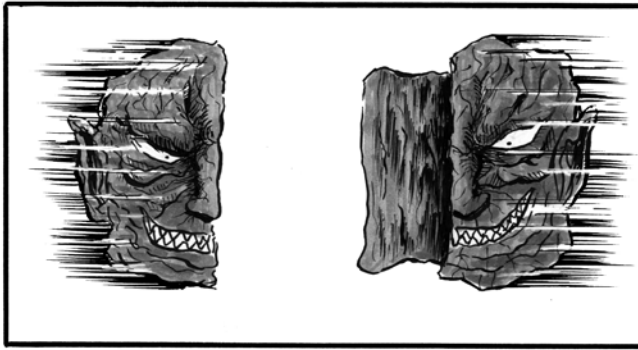
若者は言われた
通り手を大石に
触れた



すると大石の中から
醜い半分の顔が
姿を現した



若者にとって
現実だと思え
なかった



若者は自分が
なぜ醜い顔を
復活出来たのか
分からなかった



分かるはずも
なかった
実は醜い顔は
若者の遠い先祖に
あたる極悪人だった



先祖は悪行が
祟り 神により
顔を切り落とされた



更に顔は左右に
切断され右側は
大木に 左側は
大石の中に封じ込め
られた

そして百年後子孫の
若者は不思議な
力に導かれ
醜い顔が封印
された森にやって
来たのだった



醜い顔は子孫の
若者にお礼として
人を殺す喜びを
与えた

一生取れない
醜い顔を若者に
つけたのだった

